

# 東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

## 平等な学び

船橋市立湊中学校

第三学年

田中のぞみ

小学校から中学校で教科書の裏表紙の表示価格がゼロ円と表示されていることに疑問を持ったことはありませんか？今回はこのことについて調べたことと共に、私が考えたことを紹介していきます。

はじめに、小学校から中学校で扱う教科書が無償で与えられているのは、日本国憲法第二十六条で掲げている義務教育教科書無償給与制度という制度があるためです。日本の将来を担う私達に、国民全体の期待を込めて国民税金によって実施されています。義務教育教科書購入費として約四百六十億円が計上されその全ては国民の納税によって成り立っているそうです。私達の人生の基盤となる義務教育期間を、義務教育教科書無償給与制度によって平等に教育を受けられ、とても良い制度だと思えます。しかし、毎年高い義務教育

教科書購入費を払っていけば、税金の増加が心配されたり教科書をつくる分の多くの資源が一瞬にして消えてしまいます。ペーパーレス化が重要視されている今の時代に、この制度は合っていないように思います。そこで私は、教科書レンタル制度を提案します。教科書レンタル制度の良いところは二つあります。一つ目は、環境に優しいところです。教科書が無償給与されることで、学年が変わる時に教科書を捨ててしまう恐れがあります。レンタル制にすれば、必要最低限の資源で多くの人が学ぶことができます。二つ目は、増税の防止や購入費の削減ができることです。レンタル制であれば毎年の教科書購入費がないので、今懸念されている増税に良い影響を与えられると期待できます。また、物を長く大切に使うという考えが広められるので、安価な物を短期間使つてすぐ次の物を買うという

若い世代に大切なことを教えられると思います。教科書レンタル制度は実際にアメリカやイギリスで行われていて、余った分の費用を小学校や老人ホームの設備にまわしているそうです。

義務教育教科書無償給与制度は、各家庭の貧富に関わらず私達に平等な学びをさせてくれます。しかし、ペーパーレス化や増税防止に向けての費用削減など時代によって変化していくそれぞれのニーズに答えていく努力が今の日本には重要だと感じました。身近なところにある税についてより深く知ること、多様な意見が生まれさらに良い社会になると思えます。